

# 平成27年度事業総括

理事長 川島 典之



平成27年度は、次の中期5年事業計画に向けての、大切な年度です。

今年度は、東日本大震災支援の3回目として、愛知県に避難してきている親子を対象に、犬山の子どもたちとの交流の機会を10月下旬に開催できました。昨年度より多くの親子が来てくれました。大変嬉しいです。

また、市民活動交流フォーラムでは、「市民活動交流フォーラム～市民活動みほんいち 未来のまち ひとつづくり・・・～」で28年2月20日（土）にフロイデで開催しました。

パネル展示団体30団体、アピール合戦18団体が参加し、最優秀賞に「笑舞」、優秀賞に「犬山武将隊」、「まちかどボランティアセンター」が受賞しました。

分科会では、コミュニティ、環境、城下町の3分科会が開会され賑わいました。

27年度も充実した年でした。会員、理事の皆さんのご支援、ご協力の気持ちに心から感謝申し上げます。

理事の皆さんとともに、なお一層地道に中間支援機能を高めていきたいものです。

- 1 東日本大震災支援の一つとして、10月31日（土）～11月1日（日）に犬山の子どもと愛知県への被災者親子の交流の場をつくろうと実行委員会を作り、活動プログラム6個、夜の交流、熱気球搭乗、防災教室を行い、愛知県への避難者親子26人にひとときの安らぎの場を提供できたことは、とても嬉しく思いました。
- 2 「犬山子ども大学」は、20講座415人の子どもが参加し、年間延べ210日活動して、60人のボランティア指導員が活躍してくれました。
- 3 馬瀬夏季交流合宿は9年目で30人の子どもが参加。さらにプログラムが輝きを見せ大成功。4年目の「冬の交流合宿」は、29人の子どもと愛知淑徳大学の学生8人、スタッフ11人の大所帯でしたが、28年ぶりに雪のない冬と言うことでプログラムも大幅に変更しました。
- 4 「市民活動交流フォーラム」は、2月20日（土）フロイデで行いました。パネル展示30団体、アピール合戦参加団体18で、3分科会を実施しました。160人ほどの人に参加していただき、盛況のうちに終了できました。

# 研修事業

本講座は、行政、企業、市民（NPO）の各セクターを問わず、地域社会の未来をともに手をつなぎながら描いていこうとしている人々に対して、新しい集団づくりに必要な考え方や手法を体験する場を提供し、市民参加のまちづくりに取り組もうとする人材の育成や、ネットワークの拡大を図ることを目的として開催しました。

## 『いぬやま未来塾 ～ファシリテーションの基本から応用～』

- (1) “聞く技術” や “書く技術” などファシリテーションの基本スキルを習得する。
- (2) 長期的な見通しを持ち、物事を俯瞰的に捉える力やバランス感覚を養う。
- (3) 会議などの組織運営や人材育成の現場に参加体験型の場づくりの手法を導入する際に必要な視点と、その成果を確実なものにするポイントを学ぶ。

◆講師 いの うえ あき の すけ 井上 淳之典 寺小屋プロジェクト代表

回	とき・ところ	テーマ	内容	人数
第1回	5月30日(土) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「聞くこと」は、コミュニケーションの基本	◆インタビューゲーム体験 ◆ブレインストーミング実習 ◆人が集まる場作りの基本を学びます	8名
第2回	6月13日(土) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「書くこと」で、議論が手に取るように見える	◆ファシリテーショングラフィック体験 ◆ワークショップサイクル（発散と収束） ◆会議活性化のコツや工夫について学びます	10名
第3回	6月20日(土) 13:00-17:00 犬山市福社会館	「考えること」を考える・・・企画のポイント	◆マーケティングゲーム体験 ◆カード集類法、簡易情報集約法実習 ◆企画を生み出すポイントについて学びます	10名
第4回	6月27日(土) 13:00-17:00 犬山市福社会館	話の中身より「プロセス」に着目！	◆コンセンサス（合意形成）ゲーム体験 ◆コンテンツ（中味）とコンテキスト（背景） ◆合意を促すコツや必要な視点を学びます	11名
第5回	7月11日(土) 10:00-17:00 犬山市福社会館	人と人がつながる、組織や地域社会をファシリテートする	◆安定経済成長時代を想定した新しいタイプの経営ミル・ヨガ -ムを体験しながら、新しい組織や地域ビジョンについて考えます	16名

### 【成果と反省】

今回の講座は、ボランティア活動をされている方や職場でファシリテーション技術を生かしたい方など、様々な方が参加されました。グループワークを中心とした講座内容で参加した方々は、「ワークショップ」や「ファシリテーション」について体験からの気づきが多く得られ、理解を深めることが出来たとの感想を多く頂き、講座期間中に学んだ事を実践した方もみえました。



# Ⅲ 普及啓発・情報提供事業

「しみてい」の周知、普及のために、犬山市内及び愛知県下の自治体・NPO 向けにペーパーによる広報活動を行うと共に、ホームページの充実、「しみてい」内の掲示板、各種チラシの掲示の充実を図ってきました。

さらに、自治体、地域コミュニティ組織及びNPOへ指導者を派遣したり、各会合へ参加するなどして「しみてい」の普及啓発に努めています。

## ① ニュースの発行

隔月に発行し、配布先は愛知県下の自治体をはじめ NPO 向けに1,000部配布している。

- ① 発行回数 6回(76号~81号)、臨時号：木曾川源流 夏・冬の交流合宿号
- ② 発行部数 1,000部(毎回)
- ③ 配布先 会員、愛知県下の自治体、主なNPOへ配布。

## ② ネットワーク運営事業

- ① ホームページの充実
- ② 催事カレンダー(犬山市内の行政・NPOの活動カレンダー)の作成
- ③ 当会所属の団体の活動紹介を順次掲載しています。

## ③ 各種NPOのチラシ掲示及びポスター掲示場所の運営、助成金情報の提供

## ④ 普及啓発活動

### ① 協働事業によるPR

犬山城下町春祭り、秋祭り、焼酎祭り、ビール祭り、ワインまつり、あったか鍋・地酒祭り、「おひな様まつり」、「愛フェス」、犬山市産業振興祭、あつまれ犬山っ子、楽田地区コミュニティ推進協議会、犬山市青少年健全育成市民会議「オアシス運動」、多文化共生シンポジウム、新しく犬山市ボランティア連絡協議会主催の「ボランティアのつどい」など14件

### ② 市並びに各種団体への講師及び委員派遣

各種委員会への委員派遣・・・コミュニティ政策学会、大口町NPO促進委員会、市民フォーラム21NPOセンター、ボランティアネイバーズ、犬山市男女共同参画推進協議会、犬山市男女共同参画市民会議、犬山市次世代育成推進協議会、犬山市青少年問題協議会、犬山社会教育審議会、犬山里山学センター運営協議会、市民展企画委員会、犬山城下町まちづくり協会、古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク、犬山まつり実行委員会、犬山市産業振興祭など15件

### ③ 各種会合への参加

犬山市交礼会、犬山まつり実行委員会、城下町まちづくり協会4件、あんきにくらそう会総会、犬山武将隊会合、市民フォーラム21総会、理事会、楽田地区コミュニティ推進協会総会、城東小学校区コミュニティ推進協議会、楽田小、愛フェス実行委員会、城下町おひなさま祭り実行委員会など20件

# Ⅲ 相談・助言事業

## ① 概要

「しみんてい」の運営及び「犬山しみんていの会」の事業実施に伴うコーディネート。各種団体・グループさらには個人への相談・アドバイスを丁寧に実施しています。

## ② 具体的な活動

### ア、コーディネート

人材育成事業、人材交流・ネットワーク促進事業を通じ、また各種相談の中から、コーディネートが必要なものについては積極的に対応しています。

「子ども大学」「木曾川源流夏・冬の交流合宿」「東日本大震災避難者親子と犬山の子ども交流事業」も大きなものです。

### イ、相談に関する業務

#### ① 市民活動相談

- ★ NPO法人に関すること：2件
- ★ 活動に関すること：12件
- ★ 市町職員への相談・アドバイス：8件

#### ② ボランティアにかかわる相談・・・・・・・・7件

#### ③ 各市町村職員、市民活動団体の視察及受け入れ

多治見市民活動センター、扶桑北中学校、愛知淑徳大学、不登校を扱う公益財団など、4件

### ウ、犬山市民活動支援に関する条例に関わる相談・アドバイス

- ① 助成金に関するもの・・・・5件
- ② 登録に関するもの・・・・3件

# 〔Ⅳ〕人材交流・ネットワーク事業

年賀寄付金配分助成事業

## 〔1〕東日本被災者親子と犬山の子どもの自然交流事業

秋の「東日本大震災で愛知県に避難してきている親子と犬山の子どもの交流」を目指して実行委員会で事業の内容を決め実施しました。

1 実行委員会 6回（6月～11月）開催し、内容の基本方針、活動の材料等準備を決めてゆきました。

2 東日本被災者親子と犬山の子どもの交流

\*とき 10月31日（土）午前9時～11月1日（日）午後2時

\*ところ 犬山市野外活動センター一帯

\*対象者 避難者親子26人、犬山の子供62人（保護者等24人）、ボランティア30人



\*活動内容

<一日目> 10月31日

第1部 体験コーナー 午前10時30分～午後3時

☆アドベンチャー 鬼が島・ツリーアイランド ☆大物ゲットなるか！炎のばくだん魚釣り ☆森のパン屋さん！ ☆土と遊ぼう！ ☆天空カフェ 銀河鉄道 ☆芋ほりと東北青空ダイニング～芋ほりときりたんぽ～

★昼食・休憩

第2部 シェルターづくりや夕食づくり 火を囲んで・・・

<二日目> 11月1日

第3部 熱気球搭乗 午前7時～8時30分

第4部 防災教室 午前9時30分～11時

「トランシーバー交信体験」「紙の食器づくり」「消火器でのあて」「伝言ゲーム」

★昼食

★解散 午後1時

\*連携団体

NPO法人シェイクハンズ、グリーンマップ犬山、有機米つくろう会、ひとつばたごの会、おかげさま、郷瀬川清流会、犬山市レクリエーション指導者クラブ、ワークショップこころ、犬山よりみち探偵団、桃山広房

4 事業報告書作成 100部

## (2) 市民活動交流フォーラム ～市民活動みほんいち 未来のまち 人づくり・・・～

平成28年2月20日（土）フロイデにおいて、上記テーマで犬山市と共催で開催しました。



第1部団体パネル展示30団体、第2部市民活動みほんいち（アピール合戦）20団体  
第3部交流会、第4部分科会は三つの分野で開かれ、多くの人達160人が参加していただき盛大  
に開催できました。

第2部「アピール合戦」では、最優秀賞「笑舞」、優秀賞「犬山武将隊」と「まちかどボラン  
ティアセンター」がそれぞれ受賞しました。舞台狭しと踊り狂った「笑舞」、武将の姿で演舞し  
た「犬山武将隊」、発表に工夫を尽くした「まちかどボランティアセンター」本当におめでとう！！

第3部「交流会」は、昼食を兼ねてテーブルで或いはパネルの前でと様々な交流がされてお  
り、活動での連携が進めとよいと思いました。

第4部「分科会」の様子を少しだけ報告します。

第1分科会「元気なコミュニティが、めざすもの…」司会は理事の丹羽慎一郎さんが務め、  
城東コミ、楽田コミ、犬山西コミ、今井コミに参加していただき、意見交換しました。  
それぞれの活動を報告の後、今後の目標を語っていただきました。高齢者への事業、自主防  
災活動が掲げられていました。書記は理事の西尾晴孝さんです。

第2分科会「地域の自然をまもるための事例発表～人づくりにむけて～」司会は理事の宮  
田賢輔さんが務め、「郷瀬川清流会」、「ふるさとの自然を愛するスズサイコの会」、「わくわ  
く大口21」「NPO法人トンボと水辺環境研究所」がそれぞれ活動の状況を発表し、人づ  
くりにも触れていただきました。書記は吉田正克さんです。

第3分科会「みんなで育てる 城下町・・・」では、司会を理事の松本里美さんが務め、  
「犬山北のまちづくり推進協議会」、「磯部邸企画運営委員会」、「まちかどボラン  
ティアセンター」、「NPO法人古代瀬波の里・文化遺産ネットワーク」に参加いただき、活動実態を述  
べていただき、これから城下町をさらに元気にしていくための提案もいただきました。紹介  
すると、様々なニーズに応じたものを提供すること、特に子ども達に興味を持たせる活動の  
提供が必要。磯部邸と堀部邸は同じパンフレットを作成しては、若者に興味を持てる活動が  
必要では。いろんな団体とのコラボが必要では、等々の意見が出されました。書記は古田隆  
則さんです。

### (3) 木曾川源流・夏の交流合宿

～風のおっばら、水の馬瀬…山村で 心が躍る、感動体験をしよう！～

8月20日(木) 1日目 30人  
全員おっばらで活動  
☆砂金・水晶採り、野菜収穫  
☆ランタンづくり・ナイトハイク

○おっばら自然体験センター宿泊



8月21日(金) 2日目  
下呂市馬瀬へ移動して活動16名  
☆沢登り  
☆森林アドベンチャー

おっばらで活動14人  
☆砂金・水晶採り  
☆イワナ掴み・調理・焼く

○バーベキュー交流会(夜)  
○おっばら自然体験センター宿泊



8月22日(土) 3日目 30人  
全員おっばらで活動  
☆森林散策・クラフトづくり

★参加者 子ども：30人  
スタッフ：12人  
現地スタッフ：5人



今回は、おっばら三日間の子ども14人、二日目馬瀬が16人。雨が時々降る三日間でした。

今年度の宿泊は二日間ともおっばらで、その点は快適でした。

今年は、二日目のおっばらのプログラムは、水量が多く、筏はできなかったが、「水晶・砂金採り」を子どもたちの希望により実施しました。

二日目の馬瀬チームは、8人ずつに分かれ、「沢登り」と「森林アドベンチャー」を交互に行きました。森林アドベンチャーは怖さもあるが、乗り越えると面白くなって、2周した子ども達もいました。



子ども達が、自然の中で活動しながら仲間との付き合い方、関わり方を学ぶには、2泊3日の宿泊交流が最適と考えています。

自然の偉大さ、怖さもその中から感じてもらうことを期待して、来年度も実施します。

独立行政法人国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業

## (4) 木曾川源流・冬の交流合宿

～白銀の世界の中で  
思いっきり遊びまわり、  
感動体験をしよう！～

今年は28年ぶりに、雪が全く降らない冬に  
なったそうです。

プログラムも、大幅な変更を余儀なくされました。

宿泊：おっばら自然体験センター  
第1日目 平成28年1月9日（土）

- ☆班旗作り
- ☆おっばら散策
- ☆熱気球搭乗
- ☆おい袋作り
- ☆交流会



第2日目 1月10日（日）

- ☆山登り
- ☆ランタンづくり
- ☆ナイトハイク
- ☆交流会



第3日目 1月11日（祝・月）

- ☆五平餅づくり

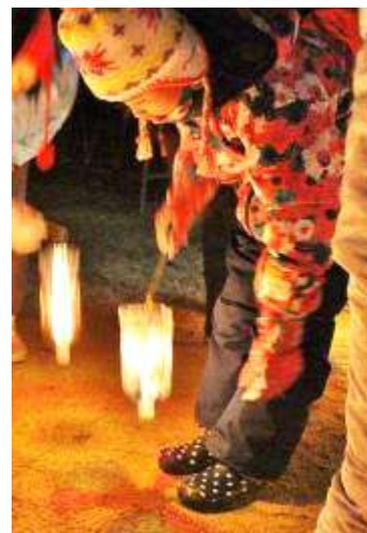
- ★子ども：28人
- スタッフ：11人
- 愛知淑徳大学小島ゼミ生：8人
- 計48人

2016年の1月は、日本中が暖冬のせいで、雪不足が続き、合宿地の高山市清見町のおっばらも同様に、28年ぶりに雪のない冬になりました。

活動内容は、変更になっても、子ども達には関係なかったようです。自然探索、熱気球搭乗、五平餅づくり。山登りは雪がなくて逆に大変だったようです。

しかし、自然いっぱい、寒さもきびしい「おっばら」の三日間は、今回も子ども達に多くの体験と経験の場を提供して、子ども達の心は、「宝物」でいっぱいになったと思っています。

いろんな体験を積むことは、子ども時代に大切なことです。



(5)

平成27年度あいちモリコロ基金助成事業

「生き物探検隊クライマックス」「冒険教室～上級編～」「犬山原始人クラブ」

子ども達は、この事業でみんながそれぞれ一回り大きくなり、自分に自信を持ったと確信しています（理事長 川島紀之）

(1) 生き物探検隊クライマックス 9人参加

この講座は、パートⅠ、パートⅡからのレベルアップ講座であり、主に犬山市内の自然を学習した上で、犬山にはない自然体験・学習を目的にしたものです。バスを使い、海山川と様々な環境に出かけることで、犬山との自然の比較を行います。

『今年は例年よりも生物の数が多く楽しかったと思います。様々な生き物と出会い、触れ合い、そして飼育し、時には死んでしまうこともあったでしょう。その中で生き物や自然の面白さは無限大で魅力的だということに気付いたと思います。今後はどういう行動を起こすかです。』（宮田指導者の言葉）



(2) 犬山原始人クラブ 17人参加

今年も、とても子どもたちが仲良く、楽しそうに活動に熱中していた。

活動時間のうち、物作りの時間がほとんどとなるが、とても集中して取り組んだ。色々な道具を使い、子ども達はとても匠になった。

猛暑の夏は「高林工房・森の学校」で活動した。板取川では大岩から飛び込む子ども達の姿に逞しさを感じた。

保護者の方が非常に協力的で、多くの方に監視や補助をしていただいた。

中山道「馬籠宿」から「妻籠宿」約9kmを自作のワラジをはき、竹の水筒を持って歩いた。誰も弱音を吐かず驚くほど元気に歩いた。これは私にとって「子どもは出来る！たっくましい！」という見方変わった。もっとできるな…と。一番の人気の活動になった。

（高林指導者の言葉）



(3) 冒険教室 ～上級コース～ 19人参加

普段やりたくても一人じゃできない、一歩が踏み出せないと思っている子が多いはず。大きなチャレンジではなくても、小さな一歩なら踏み出しやすい。そんな小さな成功体験の積み重ねは、やがて大きな壁を乗り越える礎になるはずです。

『子ども達は、自分の限界を難なく乗り越えてきました。段ボール筏では、耐水シートを使うことなく川を渡り、サワガニやザリガニを貪り、濡れた木でも火を点け、山で材を切り出し箸を削り、雨に打たれながらおむすびを頬張りました。もっと強く、もっと逞しく、もっと知恵を絞って、もっとイキイキと。留まることなく成長されることを望む』（古澤指導者の言葉）



**(6) 託児事業（事業で託児をしてほしい方どうぞ！！）**

**託児をしてほしいグループ・団体、行政の方  
どうぞ利用してください！！**

託児する人が極めて少ない状況の中、思い切って「しみんてい」では、子どもを預かることによって勉強したり、主催者の事業に参加出来たりと、あなたの成長のため、あなたの社会参加に協力できたらと考え、小さな子どもさんを預かる「託児事業」を始めております。

どうぞ！！託児を利用してください！！

平成27年度の活動実績

- 1 定例会 11回 メンバー40人
- 2 託児活動 19回 預かった子ども39人、メンバー32人

26年度は14回30名、25年度は、託児を受けた回数は20回、託児者数42名です。



## (7) 甲冑利用・管理事業

平成18年度から22年度までの5ヶ年計画で、名古屋市在住の甲冑師小川伸道先生に甲冑師を養成してもらい、その間養成を受けている人たちで「犬山甲冑制作同好会」を創設しました。平成23年度からは、甲冑の利用管理を「犬山甲冑制作同好会」にお願いしています。

城前の「甲冑工房」は7月まで借用し、同会に管理運営を行ってもらっていた。

11月から、昭和横丁の2階の部屋を借用し「甲冑工房」をオープン。犬山甲冑制作同好会と(NPO)犬山武者隊・凜と共同で「犬山武将隊」として運営管理を行ってもらっています。

平成27年度の甲冑の試着数は、314人（大人88人、子ども226人）201千円。

過去の試着数は、平成26年度220人（大人66人、子ども154人）143千円、平成25年度221人、平成24年度は240人、平成23年度255人です。



## (8) まちの駅運営事業

発足当時から「まちの駅」の運営を行っています。ここ数年、第1・第3日曜日には、専任の担当者高木茂子さんが担当して、お抹茶、コーヒーをお出ししています。朝市として、別府良助さんが野菜の販売なども行っています。



## (9) しみんてい広房

### I 城下町での協働事業

#### (1) 春の犬山お城まつり

4月4日(土)～5日(日) 3,000人

今年も多くのお客様に出店していただき盛況を極めました。  
ボランティアで参加していただいた関係者には厚く感謝いたします。



#### (2) 犬山城下町日南焼酎まつり

6月6日(土)～7日(日) 入場者 700人



### (3) 犬山城下町ビールまつり

9月19日(土)～20日(日) 入場者 1,000人



### (4) 犬山城下町秋祭り

10月24日(土)～25日(日) 入場者 1,000人



### (5) 犬山城下町ワインまつり

11月7日(土)～8日(日) 入場者 2,000人



### (6) 犬山城下町あったか鍋と地酒まつり

3月12日(土)～13日(日) 入場者 1,500人



## (7) 犬山城下町おひなさまめぐり

2月10日(水)～3月10日(木)

犬山北のまちづくり推進協議会が提唱し、城下町をお雛様で埋めようと活動を開始したので、それに参画協力しています。



## (8) もちつき交流会

日 時：12月23日(祝) 10:00～13:00

場 所：犬山しみんていの会

普段お世話になっている町内の人たちや、しみんていの会・会員に感謝の気持ちを込めて開催しました。



## Ⅱ 他の協働事業

### (1) 愛フェス2015

9月19日(土)～20日(日) 入場者 200人

ファンドレイジングと東北支援をしている催事に参画。クラフト作りでは、子ども向けの「くるくるレインボー」「紙竹とんぼ」で好評を得ました。



### (2) 犬山市産業振興祭

10月11日(土)～12日(日) 1,700人

この事業には、犬山しみんていの会のPRのため、子ども向けのクラフト作りを持って参加した。クラフトは、「くるくるレインボー」「紙竹とんぼ」を出展。(特)シェイクハンズは、フェアトレード商品の販売を通じて参加した。



### (3) 第6回 Make a CHANGE Day



10月～3月末日のボランティア活動で参画

この催事は、全国にボランティア活動を広げ、参画することによって、社会を変えていこうとする趣旨で開催されている。

第6回 Make a CHANGE Day 優秀賞 受賞

表彰式：7月4日 川島理事長と小林副理事長が出席

### Ⅲ 広 房

(1) 「はてな?のようちえん」 述べ参加者数 33人

5月6日(水祝) 8月13日(木) 9月19日(土)、12月24日(木)、  
3月19日(土)「さら・さくら」と「しみんてい」で開催。

4歳～6歳と保護者を対象に身近な「はてな?」を入り口にして“科学する心”を育むことを目的に開催しました。実施してくれた人は「りとりらぼ」の古澤法之さんと吉橋久美子さんです。



## (10) 犬山「子ども大学」

27年度は、20講座415人の参加です。ここ数年受講者が減り気味ですが、これは児童・生徒数自体が減少していることと関係があると考えます。内訳は、犬山市委託事業17講座、犬山しみんていの会自主事業3講座です。

(26年度20講座420人、25年度20講座421人、24年度22講座431名、23年度21講座453名、22年度は22講座473名、21年度21講座408名、20年度22講座436名、19年度17講座362名、18年度18講座363名、17年度15講座287名、16年度13講座196名)

27年度の特徴は、「生き物探検隊クライマックス」が活動時間7時間を4回。犬山以外の場所に出かけることによって、犬山との比較もでき、多くの生き物とも出会い、沢山の宝物を得ることができ、自然に対する優しさが芽生えてきたと思っています。

「犬山原始人クラブ」は、犬山を出ての活動が12回中7回と多く、より自然豊かな環境で森林や河川に囲まれた中で、火おこし器や縄文式土器やワラジ等を作り、試しに使ってみながら、昔の人の知恵や技を学び、体験を通して子ども達は、よりたくましく成長したと思います。

「冒険教室～上級編～」は1日7時間の活動が4回、一泊二日（午前9時から翌日午後4時）が3回です。子ども達は指導者が想像するより高い能力を発揮してくれます。

これらの活動は、通常の子どもの大学よりはるかに多くの時間活動しています。この活動に関わった子ども達は、一回り大きくなり、自分自身に自信を持ってたと言っています。指導者は、子ども達が活動を通じて逞しくなったのが手に取るようにわかったと言っています。

多くの子どもたちがこの事業に挑戦してほしいと思います。

※ 具体的な活動内容は、別冊参照。

### 平成27年度 犬山「子ども大学」 講座一覧

#### <犬山市委託事業>

① 国際理解 世界をめぐる子ども達	24人
② 日本文化にふれよう！“お茶・お花”	22人
③ 生き物探検隊 パートⅠ	27人
④ 生き物探検隊 パートⅡ	16人
⑤ サイエンス 電子工作	20人
⑥ 君も エジソンになれる！	29人
⑦ はじめての 楽しい陶芸	23人
⑧ 囲碁・将棋たいけん教室	28人
⑨ 伊勢型紙“やさしい 型紙づくり と 型ぞめ”	10人
⑩ 楽しく絵をかこう	26人
⑪ やさしい 絵画教室	23人
⑫ 和太鼓を たのしく たたこう	11人
⑬ 押し花で ものづくり	19人
⑭ マトをめがけて 楽しもう！	28人
⑮ 冒険教室 基礎コース	18人
⑯ 子どもの自然教室 午前の部	23人
⑰ 子どもの自然教室 午後の部	23人

#### <犬山しみんていの会自主事業>

① 生き物探検隊 クライマックス	9人
② 犬山原始人クラブ	17人
③ 冒険教室 上級コース	19人

計415人

# 〔V〕 調査研究・政策提言事業

## 〔1〕 政策提言

NPOに関わる平成27年度の提案書を犬山市長へ平成27年11月9日、NPOに関わる提案書を犬山市長と犬山市教育委員会へ提出した。

提言書抜粋

- (1) しみんていの塀と炊事場の改修について
- (2) コミュニティ活動の一層の充実のために
- (3) 自治体の憲法の制定「自治基本条例の制定」について
- (4) 多文化共生時代への対応について
- (5) 人件費について
- (6) 市の委託事業化の推進について
- (7) 甲冑工房の運営管理について
- (8) 犬山子ども大学について
- (9) 犬山市役所でのNPO活動に対する理解促進及び啓発事業
  - ① NPO関係庁内連絡会議の開催
  - ② NPOに関する職員研修の実施について

## 〔2〕 政策NPO学会

政策NPO学会総会（7月5～6日横浜大会）に参加できませんでした。

# (V) 施設運営・整備事業

## (1) 施設利用状況

2015年度  
市民活動支援センター利用者調べ

年/月	来館者数	団体利用		個人利用者数	
		団体数	利用者数	コピー	印刷
” 15/04	1,889	23	530	14	12
5	1,582	22	268	11	10
6	513	28	288	6	10
7	379	26	238	13	12
8	270	19	261	7	3
9	658	27	266	17	13
10	1,077	26	372	9	7
11	1,559	20	161	11	5
12	445	29	436	7	8
” 16/01	755	24	232	10	3
2	849	21	205	8	8
3	2,127	29	213	14	5
合計	12,103	304	3,470	127	96

総利用者数	15,796 人
総利用団体	304 団体

## (2) 前年度までの利用者・団体数の推移

年 度	総利用者数	総利用団体
2014	17,804	319
2013	10,888	255
2012	10,661	270
2011	18,406	275
2010	16,849	351
2009	14,396	374
2008	14,165	445
2007	12,264	294

# (VI) 会議開催状況

犬山しみんていの会は、定例的に理事会と運営委員会を交互に開催しています。  
大きなイベントは、実行委員会を結成して、毎月事業実施まで会合を持っています。

## (1) 定例会議

名称	回	日時	主な議題
理事会	第1回	4月21日(火)	* 総会資料について
	第2回	7月14日(火)	* 夏の交流合宿等
	第3回	9月8日(火)	* 愛フェス、ビールまつり、市産業振興祭等
	第4回	11月10日(火)	* フォーラム(とき・会場決定)、決算見込み
	第5回	1月12日(火)	* 市民活動交流フォーラムについて等
	第6回	3月8日(火)	* 27年度事業計画、あったか鍋と地酒まつり等
運営委員会	第1回	6月9日(火)	* 森と遊ぼう実行委員会立ち上げ
	第2回	8月11日(火)	* 夏の交流合宿、愛フェス参加等
	第3回	10月13日(火)	* 犬山産業振興祭、秋祭り、ワインまつり等
	第4回	12月8日(火)	* 城下町おひなさま巡り、フォーラム等
	第5回	2月2日(火)	* 視察・交流会、事業計画・予算等
実行委員会	第1回	6月9日(火)	* 東北被災者親子と犬山の子供交流
	第2回	7月14日(火)	* 東北被災者親子と犬山の子供交流
	第3回	8月11日(火)	* 東北被災者親子と犬山の子供交流
	第4回	9月8日(火)	* 東北被災者親子と犬山の子供交流
	第5回	10月13日(火)	* 東北被災者親子と犬山の子供交流最後の確認
	第1回	11月10日(火)	* 市民活動交流フォーラム立ち上げ
	第2回	12月8日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	第3回	1月12日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	第4回	2月2日(火)	* 市民活動交流フォーラム
	総会	5月10日(日) 午前10時～ 終了後昼食交流会	

※理事会は、理事に限定。

※理事会と運営委員会は毎月1回交互に実施。(第2火曜日)

## (2) その他の会議

(1) 事務局会議、月に1回開催。

(2) 出展者打合せ会は随時開催

# (VIII) 報道関係ニュース

中 日 新 聞

2015年(平成27年)5月15日(金曜日)

近 郊 22

近郊版

## 「円滑な進行」力磨く

### 犬山で30日から5回講座

犬山市のNPO法人「犬山しみんていの会」は、会議や計画が円滑に進むようサポートする。

講座は同市犬山市福祉会館を会場に、三十日から七月十一日まで計五回を予定。三重県桑名市で体験型教材を使った「寺子屋プロジェクト」を主宰する井上淳之典さんが講師を務める。定員は各回二十四人。開講時間は第一、四回が午後一〜五時、第二回は午前十時〜午後五時。受講料は全回参加が五千円、一回千五百円。テキスト代は二日「考えること」を考えたの会 〇五68(6)7710

◇開講日とテーマ 30日「聞くこと」は「コミュニケーションの基本」▽6月13日「書くこと」で議論が手に取るように見える▽20日「考えること」を考え

る「企画のポイント」▽27日話の中心より「プロセス」に注目！▽7月11日人と人がつながる、組織や地域社会をファシリテートする



中 日 新 聞

15 尾近知総合 近 2015年(平成27年)5月25日(月曜日)

近郊版

子ども大学開校  
830人が式に出席

犬 山

小中学生が自然や芸術などの体験講座に挑戦する「犬山市子ども大学」の本年度開校式が二十四日、同市羽黒の市民文化会館であり、保護者を含む八百三十人が出席した。子ども大学は市教委



自己紹介と講座の概要を説明する講師ら。犬山市羽黒の市民文化会館で

などの事業として二〇一〇年から始まり、〇四二年からNPO法人「犬山しみんていの会」が受託している。今年「体験は心に積み重ね、日本の文化体験な

なりの事業として二〇一〇年から始まり、〇四二年からNPO法人「犬山しみんていの会」が受託している。今年「体験は心に積み重ね、日本の文化体験な」とあいさつした。講師の紹介に続き、講座別の説明会が開かれた。各講座は来年一月末ごろまでに十回開かれ、二月には成果発表会がある。



… 犬山子育てわいわい情報誌 …

NO.66  
2015.6発行

# momoppi ももっぴ通信

発行 NPOももっぴ通信部    協力 犬山市中日新聞販売店    賛助 犬山市子育て応援企業

しみんてい広場 — 犬山しみんていの会主催事業 —

身近な「はてな？」を入口にして“科学する心”を育む

## はてな？のようちえん

たべること・くらすこと・あそぶこと・しぜん…小さな子に寄り添えば、毎日「はてな？」に満ちています。何気ない日々の暮らしにも、科学のタネはいっぱい。子どもの目線で一緒に「はてな？」を探しましょう！  
ここでは、子どもが考える時間をじっくりとって、子どもの発想に丁寧に耳を傾けることを大切にしています。



プログラム名	日時	内容	場所	申し込み
あらって・ほして あわあわわ	8/13(木) 10時～12時	おけん水を用意して、こしこし、じゅぷじゅぷお洗濯。ぽっぽと乾って乾かそう！	市民健康館 まら・まくら	8/8 (木)
つちのいろ、 いろいろ	9/19(土) 10時～12時	土の育てて葉はいろいろ、手触りだって違うんだ。何かつくってあそぼうか！	市民健康館 まら・まくら	9/12 (土)
ひかりとあかりと くらがりと	12/24(木) 10時～12時	太陽の光、電球やろうそくのあかり、そして星がりの不思議を考えよう！	しみんてい	12/17 (木)
へんし～ん！ だいた	3/19(土) 10時～12時	かた～いかたい大豆からいろんなものができるんだよ、おいしいお豆腐をつくってみよう！	しみんてい	3/12 (土)

■対象：年中～年長(4歳～6歳)と保護者

※年少も受付ますが、内容的に少し難しいかもしれません。

■定員：各回15組(申込先着順)(結果は全員に報告します)

■参加費：1プログラム500円(対象となる子ども一人あたり)

※同伴の保護者は無料

■申込方法：タイトルに「はてな？のようちえん申込み」とご記載のうえ、

①郵便番号 ②住所 ③参加される方全員の氏名 ④ふりがな ⑤年齢 ⑥参加されるお子様の学年 ⑦電話番号(当日つながる番号) ⑧参加したい日程とタイトルを明記して下の宛先までお申し込みください。

※傷害保険に加入しますので、氏名(ふりがな)と年齢は必ず全員お願いします。

■申込先：しみんてい TEL:0568-61-7710 FAX:0568-61-8108

E-mail:center@inuyama-shimintei.com

住所：〒489-0857 犬山市大字犬山字北古券甲98-1

■お申し込みにあたって：「3/19 へんし～ん！だいた」では、大豆を使った簡単な料理をします。

アレルギーのある方はご留意のうえ、担当にご相談ください。また、調味料・薬味は各自お好みに合わせてお持ちください。醤油と塩は用意いたします。

■内容の問合せ：りとららば(プログラム実施団体) E-mail:ttielab@outlook.jp

担当：古澤法之 080-3627-8915 :吉橋久美子 090-4142-8854





新 聞

2015年(平成27年)8月16日(日曜日) 尾・な・東・近・知 愛 知 26

# 犠牲悼む 平和祈る

すいとんを食べる

犬山の親子ら

○…読み聞かせなどで子どもたちに戦争の悲惨さを伝える犬山市の「すいとんの会」は、

犬山しみんていで平和を考えるイベントを開催。親子連れら十五人が、小麦粉の団子と野菜入りのすいとんを食べ、戦中戦後の厳しい食生活をしのんだ。

代表の時々輪齋子さん(左)＝同市前原Ⅱが六月末、八月十五日を「すいとんで平和を学ぶ日」として日本記念日協会に登録したことにちなみ、今年初めて開催。原爆投下後の広

島の惨状を描いた絵本などを読み聞かせ、一時間をかけて築いたものでも破壊するのは一瞬。戦争は嫌だね」と訴えた。(田中富隆)

平成27年11月27日（金曜日）

尾北ホームニュース



# 「東北っ子」と「犬山っ子」が交流

## 犬山しみんていの会が主催

犬山市の野外活動センターと栗栖園地で10月31日、11月1日、「森と遊ぼう」つながろう！東北っ子と犬山っ子」が行われました。東日本大震災の影響で古里から避難して愛知県内で暮らす親子を招待し、犬山の豊かな自然の中で共に遊び体験し交流しようと、犬山しみんていの会が主催しました。

大震災のため  
愛知で暮らす  
親子11組参加

「東北っ子」は名古屋や安城などから11組の親子が参加。「犬山っ子」約50人とツリーハウスでのカフェやロープ遊び、写真、羊飼い、魚を釣って自分でさばく体験、陶芸、東北青空ダイニング

自然や物づくり体験では、トンボと水辺環境研究所、桃山工房、有機米つくろう会、シェイクハウス、郷瀬川清流会、多

と称したきりたんぼ作りなどを楽しみました。2日目早朝の気球体験では、木曾川の流れや美しい景色に歓声を上げる子どもたち。子ども防災教室には犬山市役所防災安全課、同市消防署、ARV、犬山レクリエーション指導者クラブが協力し、消火器の扱いや災害時の無線のやり取り、情報を伝える伝言ゲームなどを体験。

の団体が協働しました。「普段できない事をたくさん、伸び伸びと経験させてもらい、とてもいい思い出になりました」と避難者家族。夜はキャンプファイヤーを楽しみ、普段出会う機会のない東北の人と情報交換や話が弾んでいました。

同会の川島紀之理事長は「子どもたちは共に遊び自然に仲良くなれる。親たちも情報交換という有意義な副産物があった。

こんな機会をこれからもつくっていきたい」と話していました。

近郊版

# 市民団体取り組み発表

## 犬山アピール合戦や分科会

犬山市の市民活動交 十日、犬山国際観光セ  
流フォーラム「市民活 ンターであり市内と近  
動みほんいち 未来の 隣市町の三十一団体、  
まち 人づくり」が二百八十人が参加した。



パネルで活動をアピールする参加団体  
＝犬山市の犬山国際観光センターで

市とNPO法人犬山 市民活動支援センター (しみんてい)の会が 主催した。開会式で山 田拓郎市長は「まちづ くり大切な人のつな がりを、皆さんとともに 構築していきたい」と あいさつ。しみんて いの会の川島紀之理事 長は「他団体の活動も 知ってもらい、協力で きる分野があれば連携 を」と呼び掛けた。

午前中は十七団体が アピール合戦を繰り広 げ、パネルや地図、踊り などを交えて熱心に活 動を紹介した。昼食を 取りながらの交流会を 挟み、三つの分科会も 開かれた。(田中富隆)

尾北ホームニュース

平成28年3月4日（金曜日）【4】



民族衣装で発表した「国際理解」講座の受講生

# 1年間の成果を発表

## 犬山市子ども大学

犬山市子ども大学の活動成果発表会が2月7日に大山市民文化会館で行われ、約250人の子ども大生が保護者らを前に1年間の活動を振り返って成果を報告しました。

ロビーには20講座の作品や写真が展示され、ステージでは「日本文化にふれよう！お茶・お花」のお手前や「マトをめが

犬山市子ども大学の活動成果発表会が2月7日、将棋の紹介、生き物探検隊、冒険教室などの様子

のあちらこちらから、「来年は太鼓がいいなあ」や「もう1年、原始人やりたい」などの声がかれ、山田拓郎犬山市長は「他にはない貴重な機会。いろんな体験をしてください」とあいさつ。

「国際理解」は恒例の民族衣装で発表し、締めくくりに「和太鼓をたのしくたたこう」は年間の成果をバチに託して元気よく演奏し、大きな拍手を浴びていました。仲間の発表を見守る席

# (IX) 平成27年度決算報告

## 平成 27 年度収支計算書

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

2016/3/31 現在 (単位:円)

### I. 経常収入の部

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 会 費				
① 正 会 員	240,000	204,000	△ 36,000	1 口 3,000 円×68 口(個人 42 口、団体 26 口)
② 賛 助 会 員	180,000	148,000	△ 32,000	個人 2、法人 17
③ 情 報 会 員	30,000	21,000	△ 9,000	1 口 3,000 円× 7 口
小 計	450,000	373,000	△ 77,000	
2 委 託 料				
①施設運営事業	2,557,600	2,557,600	0	施設管理、消耗品
②コーディネイト事業	2,628,000	2,627,168	△ 832	各種相談・支援
③NPO 協働推進事業	1,208,000	1,207,600	△ 400	フォーラム、行政との協働実践事業
④子ども大学委託事業	6,339,600	6,339,600	0	国際理解等 17 講座
小 計	12,733,200	12,731,968	△ 1,232	
3 助 成 金				
①犬山市観光協会	300,000	300,000	0	甲冑類管理・利用
②あいちモリコロ基金	1,000,000	0	△ 1,000,000	生物クライマックス、原始人クラブ、冒険 上級
③子どもゆめ基金	440,000	0	△ 440,000	東北被災者親子と犬山の子ども達との交流
④年賀寄付金		650,000	650,000	東北被災者親子と犬山の子ども達との交流
⑤子どもゆめ基金		135,460	135,460	木曾川源流 冬の交流合宿
⑥犬山お城まつり	0	10,000	10,000	犬山お城まつり実行委員会
小 計	1,740,000	1,095,460	△ 644,540	
4 参 加 費(事業収入)				
①広房事業	100,000	441,318	341,318	まちの駅、出前広房、他
②人材育成事業	10,000	81,700	71,700	託児養成講座
③子ども大学	455,000	423,000	△ 32,000	生き物クライマックス、原始人クラブ 冒険教室 上級
④ネットワーク事業	1,650,000	1,802,642	152,642	夏冬交流、フォーラム、被災者交流、甲冑
⑤城下町協働事業	0	381,660	381,660	ワイン祭、焼酎祭、鍋地酒祭、ビール祭、他
小 計	2,215,000	3,130,320	915,320	
5 使 用 料(事業収入)				
①設備運営事業	200,000	206,280	6,280	印刷コピー、自販機、他
②拡大印刷事業	150,000	115,000	△ 35,000	ポスター、看板、横断幕、他
小 計	350,000	321,280	△ 28,720	
6 寄 付 金				
①寄付金	100,000	353,666	253,666	広房事業、個人、他
小 計	100,000	353,666	253,666	
7 その他				
①雑収入	10,000	65,070	55,070	暖房代、切手代、他
②受取利息	0	626	626	
小 計	10,000	65,696	55,696	
8 前年度繰越金	1,000,000		△ 1,000,000	
経常収入合計	18,598,200	18,071,390	△ 526,810	

## Ⅱ. 経常支出の部

### [1]事業費

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 研修事業				
①NPOリーダ育成研修	200,000	145,178	54,822	
小 計	<b>200,000</b>	<b>145,178</b>	<b>54,822</b>	
2 普及啓発・情報提供				
①ニュースの発行	60,000	106,676	△ 46,676	郵送費、用紙・インク代
②ネットワーク運営	548,000	548,274	△ 274	人件費、ホームページの改善・更新
③大掲示板整備	2,000	0	2,000	大掲示板整備
小 計	<b>610,000</b>	<b>654,950</b>	<b>△ 44,950</b>	
3 相談・助言事業				
①コーディネート 助言・相談	2,565,000	2,612,106	△ 47,106	人件費、法定福利費、NPO 相談・助言 市助成金支援、協働コーディネイト等
小 計	<b>2,565,000</b>	<b>2,612,106</b>	<b>△ 47,106</b>	
4 人材交流ネットワーク				
①市民活動交流フォーラム	342,000	512,035	△ 170,035	人件費、謝礼、消耗品、他
②NPO 行政協働実践事業	210,000	254,197	△ 44,197	人件費、法定福利費、消耗品、他
③しみんてい広房事業	213,000	510,124	△ 297,124	城下町、出前、他
④まちの駅運営事業	70,000	125,572	△ 55,572	謝礼、消耗品
⑤甲冑管理・利用事業	630,000	481,638	148,362	借料、光熱費、保管料、他
⑥子ども大学事業	6,339,600	6,339,600	0	人件費、謝礼、教材、他
⑦多文化共生推進事業	20,000	0	20,000	
⑧夏の交流合宿	652,762	654,184	△ 1,422	謝礼、賃借料、消耗品、他
⑨冬の交流合宿	710,120	770,991	△ 60,871	謝礼、賃借料、消耗品、他
⑩託児者養成	40,000	15,880	24,120	謝礼、消耗品
⑪犬山子ども自然冒険隊	1,026,496	1,062,566	△ 36,070	人件費、謝礼、教材、他
⑫被災者支援交流事業	642,000	794,435	△ 152,435	謝礼、消耗品、借料、他
小 計	<b>10,895,978</b>	<b>11,521,222</b>	<b>△ 625,244</b>	
5 調査研究・政策提言事業				
①研 修	50,000	15,325	34,675	交通費、会議費、他
②政策提言	3,000	0	3,000	
③研究・情報収集	60,000	50,820	9,180	諸会費、交通費、他
④ポニー牧場調査・研究	3,000	0	3,000	
⑤まちづくり研究集会	40,000	738	39,262	
小 計	<b>156,000</b>	<b>66,883</b>	<b>89,117</b>	
<b>事業費合計</b>	<b>14,426,978</b>	<b>15,000,339</b>	<b>△ 573,361</b>	

### [2]管理費

科 目	予 算	決 算	差 異	備 考
1 管理運営	3,082,000			
①人件費		2,603,600		管理人人件費
②法定福利費		54,603		厚生年金保険、健康保険、児童手当拠出金
③会 議 費		1,570		各種打ち合わせ
④旅費交通費		49,770		交通費
⑤郵 送 費		33,032		各種案内、連絡 郵送代
⑥通 信 費		60,504		中部ケーブル
⑦消耗品費		150,114		印刷用紙、インク
⑧備品・消耗品		203,178		拡大印刷器、他
⑨水道光熱費		47,781		ガス代
⑩賃 借 料		130,275		コピー機・印刷機 使用料
⑪新聞図書費		36,986		新聞代、書籍代
⑫保 険 料		14,800		ボランティア保険
⑬諸 会 費		51,000		商工会議所、まちづくり協会
⑭慶 弔 費		15,000		お見舞
⑮租税 公課		452,500		消費税、収入印紙
⑯支払手数料		4,142		振込み手数料
⑰雑 費		22,000		
小 計	<b>3,082,000</b>	<b>3,930,855</b>	<b>△ 848,855</b>	

2 環境整備				
①環境整備	10,000	5,895	4,105	修繕費
小計	10,000	5,895	4,105	
管理費合計	3,092,000	3,936,750	△ 844,750	

[3] 予備費

科目	予算	決算	差異	
3 予備費	300,000	0	300,000	

Ⅲ. 経常支出合計	予算	決算	差異	
	17,818,978	18,937,089	△ 1,118,111	

Ⅳ. 経常収支差	予算	決算	差異	
	779,222	△ 865,699	1,644,921	

Ⅴ. 経常外費用 過年度損益修正損	予算	決算	差異	
		70,000	△ 70,000	過年度助成金減額 (子ども夢基金 森と遊ぼう)

	決算		
Ⅵ. 当期正味財産増減	△ 935,699		
Ⅶ. 前期繰越正味財産	2,373,054		
Ⅷ. 正味財産合計	1,437,355		

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

平成27年度 活動計算書 2015/4/1 ~ 2016/3/31

(単位：円)

科 目	金 額	
<b>I 経常収益</b>		
1. 受取会費		
正会員受取会費	204,000	
賛助会員受取会費	148,000	
情報会員受取会費	21,000	373,000
2. 受取寄附金		
受取寄附金	353,666	353,666
3. 受取助成金等		
受取助成金	1,095,460	1,095,460
4. 事業収益		
事業収益	3,451,600	
受託事業収益	12,731,968	16,183,568
5. その他収益		
受取利息	626	
雑収益	65,070	65,696
<b>経常収益計</b>		18,071,390
<b>II 経常費用</b>		
1. 事業費		
(1) 人件費		
給料手当	4,344,000	
法定福利費	170,946	
<b>人件費計</b>	<b>4,514,946</b>	
(2) その他経費		
業務委託費	100,000	
諸謝金	4,227,550	
印刷製本費	7,500	
会議費	6,200	
旅費交通費	442,646	
郵送費	172,371	
通信費	22,440	
消耗品費	1,137,503	
教材費	1,880,053	
水道光熱費	30,342	
新聞図書費	28,560	
地代 家賃	450,000	
賃借料	662,770	
保険料	81,984	
諸会費	107,000	
研修費	15,325	
支払手数料	3,284	
雑費	10,000	
仕入れ	272,313	
雑役務費	827,552	
<b>その他経費計</b>	<b>10,485,393</b>	
<b>事業費計</b>		15,000,339

科 目	金 額		
<b>2. 管理費</b>			
<b>(1) 人件費</b>			
給料手当	2,603,600		
法定福利費	54,603		
<b>人件費計</b>	<b>2,658,203</b>		
<b>(2) その他経費</b>			
会議費	1,570		
旅費交通費	49,770		
郵送費	33,032		
通信費	60,504		
消耗品費	150,114		
修繕費	5,895		
備品消耗品費	203,178		
水道光熱費	47,781		
賃借料	130,275		
新聞図書費	36,986		
保険料	14,800		
諸会費	51,000		
慶弔費	15,000		
租税公課	452,500		
支払手数料	4,142		
雑 費	22,000		
<b>その他経費計</b>	<b>1,278,547</b>		
<b>管理費計</b>		<b>3,936,750</b>	
<b>経常費用計</b>			<b>18,937,089</b>
<b>当期経常増減額</b>			<b>△ 865,699</b>
<b>III 経常外収益</b>			
1. 過年度損益修正益		0	
<b>経常外収益計</b>			0
<b>IV 経常外費用</b>			
1. 過年度損益修正損		70,000	
<b>経常外費用計</b>			70,000
<b>税引前当期正味財産増減額</b>			<b>△ 935,699</b>
<b>法人税、住民税及び事業税</b>			0
<b>当期正味財産増減額</b>			<b>△ 935,699</b>
<b>前期繰越正味財産額</b>			2,373,054
<b>次期繰越正味財産額</b>			<b>1,437,355</b>

## 平成27年度 貸借対照表

平成28年3月31日 現在

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

科目・摘要	金額		
<b>I資産の部</b>			
<b>1流動資産</b>			
現金預金	1,349,076		
未収金	135,460		
前払金	1,760		
<b>流動資産合計</b>		1,486,296	
<b>2固定資産</b>			
車両運搬具	0		
什器備品	0		
<b>固定資産合計</b>		0	
<b>資産合計</b>			1,486,296
<b>II負債の部</b>			
<b>1流動負債</b>			
未払金	0		
前受金	0		
預り金	48,941		
<b>流動負債合計</b>		48,941	
<b>2固定負債</b>			
長期借入金	0		
<b>固定負債合計</b>		0	
<b>負債合計</b>			48,941
<b>III正味財産の部</b>			
前期繰越正味財産		2,373,054	
当期正味財産増減額		△ 935,699	
<b>正味財産合計</b>			1,437,355
<b>負債及び正味財産合計</b>			1,486,296

# 平成 27 年度 財産目録

平成 28 年 3 月 31 日 現在

特定非営利活動法人 犬山市民活動支援センターの会

(単位：円)

科目・摘要	金額	
<b>I資産の部</b>		
<b>1流動資産</b>		
現金預金		
現金 現金手許有高	321,639	
普通預金 十六銀行犬山支店	125,382	
定期預金 十六銀行犬山支店	902,055	
未収金		
子ども夢基金助成金	135,460	
前払費用		
H28 年度子ども大学フロイデ使用料	1,760	
<b>流動資産合計</b>		1,486,296
<b>2固定資産</b>		
車両運搬具	0	
什器備品	0	
<b>固定資産合計</b>		0
<b>資産合計</b>		1,486,296
<b>II負債の部</b>		
<b>1流動負債</b>		
預り金 職員に対する源泉所得税 (給与)	14,617	
預り金 職員に対する市民税・県民税 特別徴収税	4,500	
預り金 職員に対する雇用保険	8,976	
預り金 職員に対する健康保険	7,477	
預り金 職員に対する厚生年金保険	13,371	
<b>流動負債合計</b>		48,941
<b>2固定負債</b>		
長期借入金	0	
<b>固定負債合計</b>		0
<b>負債合計</b>		48,941
<b>正味財産</b>		1,437,355

# (X) 平成27年度監査報告

## 監査報告書

平成27年度特定非営利活動法人犬山市民活動支援センターの会の決算について、平成27年4月1日～平成28年3月31日までの事業内容について、厳正に監査を行った結果、その内容は的確に且つ正確に処理されていました。

又事業の運営についても良好であると認められたので報告します。

平成28年 月 日

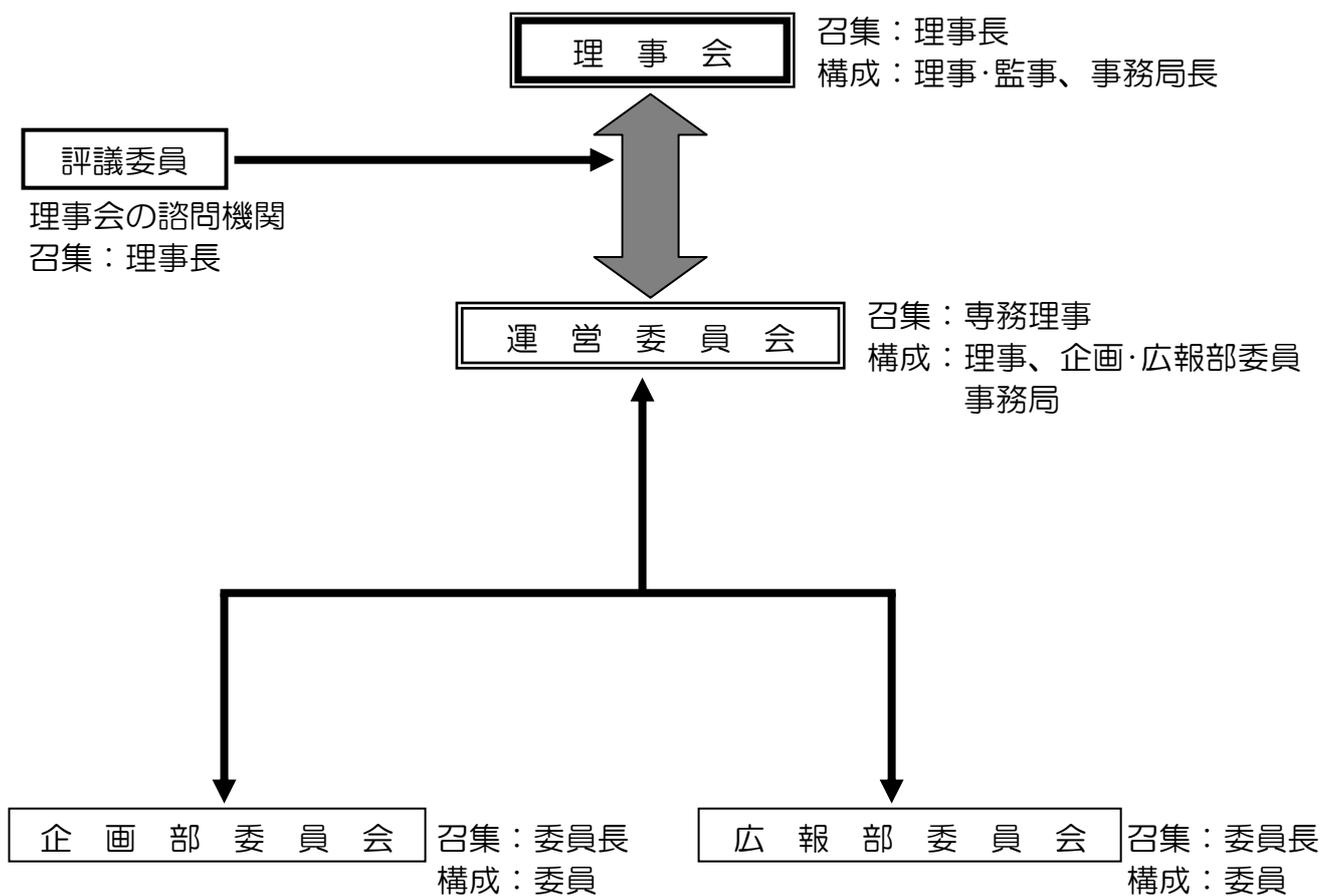
特定非営利活動法人  
犬山市民活動支援センターの会  
理事長 川島紀之 殿

監事

監事

# (X1) 犬山しみんていの会 運営体制

特定非営利活動法人  
犬山市民活動支援センターの会



運営委員会は、オープンにしています。  
理事以外の会員も自由に参加できます。

積極的に参加いただき建設的なご意見をお待ちしています。